

2019年度社会福祉法人草笛の会事業計画

I. 事業方針

高い公益性と非営利性を備えた社会福祉法人の役割がますます重要になっていく中、これまで培ってきた福祉サービスに関する専門性やノウハウ、地域の関係者とのネットワーク等を活かしながら、地域への貢献活動を積極的に取り組んでいくことが期待されている。そうした期待に応えていくために草笛の会では、経営組織体制の構築、事業運営の透明性の向上に取り組んでいくとともに、地域の生活課題や福祉ニーズに積極的に対応し、創意工夫のもとで福祉サービスの充実した事業推進を図っていく。

II. 重点目標

1. コンプライアンスの徹底

内部牽制体制の強化や情報管理の徹底、各種法令や基準等の遵守など、コンプライアンス体制を強化し、法人としての信頼性の向上を図る。

2. 経営組織のガバナンスの強化

理事会及び評議員会の適正な運営に努め、公正かつ透明性の高い適正な経営を可能にする実効性のある組織体制を構築する。

3. 事業運営の透明性の向上

計算関係書類や現況報告書の公表を適切に実施し、法人運営の透明性の確保を図る。

4. 財務規律の強化

会計年度ごとに社会福祉充実残額を明確化し、残額が発生した場合は、社会福祉充実計画を作成するとともにその確実な実施を図る。

5. 安定した財政運営の確立

- ・稼働率の向上や各種加算の確保により、事業収入の安定的確保を図る。
- ・10月からの消費税増税により、支出額の増加率は1.85%になると想定されているため、予算管理の徹底及び財務管理体制の強化を図り、経費の節減に努める。

6. サービスの質の向上

- ・利用者の意思及び人格、権利を尊重し、一人ひとりの持っている力を引出しながら、社会自立や生きがいをもった充実した生活実現のための適切な支援に努める。
- ・平成30年度に利用者虐待が発生した(3件通報)。“虐待0”を目標に、利用者の尊厳を守り、意思や要望、ニーズを尊重し、利用者本位のサービスの充実に努める。
- ・第三者による評価の受審を行い、外部の評価結果を活かしたサービスの改善を行う。
- ・ISO14001環境マネジメントシステムにより、業務の効率化等を図るシステムづくりを促進し更なるサービスの質の向上に努める。

7. 人材の確保と育成

- ・深刻化する人材不足に対処するため、大学等との連携や訪問等の実施、実習生の積極的な受け入れや就活をサポートするイベント等を実施する等の多様な人材確保の方策を講じる。
- ・内外から評価され「草笛の会で働きたい」と言ってもらえる魅力ある組織づくりに取り組む。
- ・法人内研修を計画的に実施し、職員の資質向上を図る。
- ・外部専門家の教育指導を仰ぎ、中堅職員の育成を図る。

8. リスクマネジメント体制の強化

- ・感染症、食中毒、支援中の事故、車両事故撲滅に向けたマニュアルの整備及び更新を行うとともに、適切な周知を行う。

- ・地震、風水害、火災時の対応マニュアルの整備及び更新を行い、マニュアルを活用した各種災害対策訓練を継続的に実施する。
- ・利用者個人情報の管理を一元的に進め、事業所、職員による適正管理の基に利用者が安心して福祉サービスを利用できるよう、安全な情報管理を徹底する。

9. 地域貢献活動の実施

- ・あらゆる事情により、一時的に障害者を支援することが困難になった家庭等に対し、当該家庭等における障害者の生活をサポートする。
- ・地域の中で生活する障害児者に対して、日々の困りごとを気軽に相談できる窓口を設け、障害児者の生活の安定に貢献する。
- ・こども食堂の運営を継続し、孤食の解決や地域コミュニティ機能も果たしていく。

10. 施設・設備整備

- ・御前崎市御前崎字大久保地内に短期入所併設型のグループホーム「つばきの家」を整備する。
(グループホーム定員5名、短期入所1名)

III. 評議員・理事会・監事監査の実施・開催

定時評議員会の開催

- ・6月、3月に開催する。

理事会の開催

- ・6月、11月、3月に開催する。

監事監査の実施

- ・5月
- ・定期監査を9月、1月に実施する。

IV. 負債償還事業の実施（別紙1）

施設・設備整備事業資金確保のための借入金の元利償還金 43,355,143 円を独立行政法人福祉医療機構、掛川信用金庫小笠支店、静岡銀行小笠支店に対して支払う。

V. 借地料の支払い（別紙2）

借地 16,568.10 m²の借地料 4,141,450 円を 15 名の地主に支払う。